

1962 あれこれ

大大阪をめざす数々の仕事が年1年と進んでまいりました

ことしもやがてフィナーレ。市民のみなさんの熱心なご協力によって近代都市の土作りが固まり、1年1年と大大阪をめざす数々の仕事が進んでまいりました。

以下、昭和37年の市政を写真を中心にふりかえてみました。

①交通事故をなくす運動強力に展開

昭和36年、府下の交通事故での死亡者は1000人を突破。死亡0、事故0の悲願達成に、歩行者も、運転者もいっせいに立ち上がり、交通事故をなくす運動は強力に展開されることになりました。

②大阪港整備のマルク外債調印

府市の港湾整備と臨海工業地域の造成の資金にあてるため西独で90億円のマルク債を発行。引き続き、本年度も第2回90億円を発行の予定。これで海の玄関大阪港の整備はいちだんと進むことでしょう。

③初の名誉市民に白川・菅両氏

市民、または、市に縁故が深く、社会文化の発展に大きな貢献をしたかたとして、白川朋吉・菅藤太郎の両氏に、初の名誉市民の称号が贈られました。

④国連の阪神都市圏調査結論出る

行政区画をこえて密接につながる阪神地帯に総合的なメスをあてる国連の第2次都市圏総合調査が行なわれ、2年間にわたる意義深い最終結論がまとめられました。

⑤水道第7回拡張事業通水始める

夏の需要期をむかえ、水道第7回拡張事業24万m³の全量通水を始め、大阪市の給水能力は、146万2000m³になりました。

⑥十三バイパス一部できる

北大阪の交通混雑を緩和するための十三バイパスが一部完成。幅7m、長さ722m、高さ7mの北行き一方通行のフリーウェイで、さらに中津までの工事が急がれています。

⑦明るい町へ愛隣会館

いわゆる“釜ガ崎”一帯は、総合福祉センター愛隣会館や愛隣寮などができて、しだいに明るい町に生まれかわりつつあります。

⑧地下水くみ上げ制限を強化

地盤沈下の原因である地下水くみ上げは、8月末、改正工業用水法と建物用地下水くみ上げ規制法が施行されてきびしく制限されることになりました。

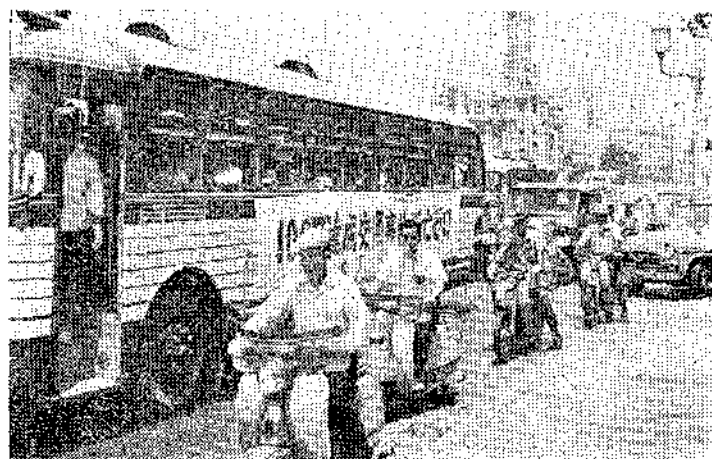
⑨成果上げた国際工作機械見本市

10月に開かれた東洋初の国際工作機械見本市は、世界19カ国から多数のバイヤーが参加。成約金額約92億円に上る大きな成果を上げました。

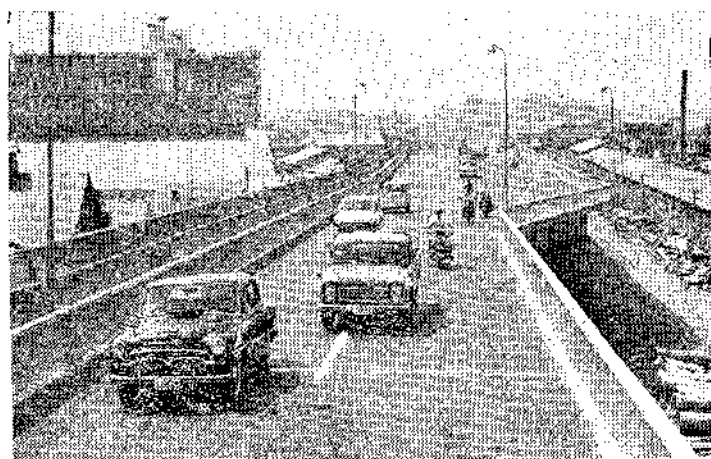
⑩待望の婦人会館誕生

婦人の教養と活動のセンターとして市立婦人会館が誕生。天王寺区上木町の高台に格調の高い美しい姿をあらわしました。

【写真掲載以外のもの】…浪速区産業会館完成(3月)・光陽養護学校開く・皇太子ご夫妻義宮さま弘済院へ・第5回大阪国際見本市(4月)・此花産業会館完成(5月)・淀川北岸線開通(6月)・国保“海の家”開く・参院選挙・新淀川新橋着工(7月)・六甲青少年の家・早川福祉会館完成(9月)・馬場生活館・博物館全館・児童院・港市民館完成(11月)・修造館完成(12月)



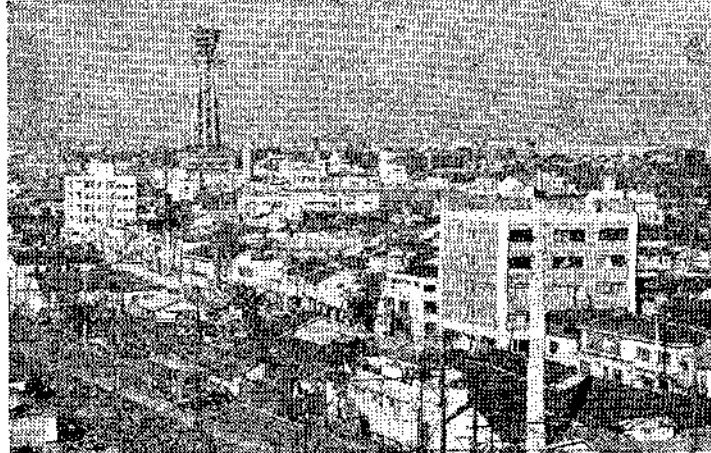
①交通事故をなくす運動★北区の死亡ゼロ100日達成パレード<1月>



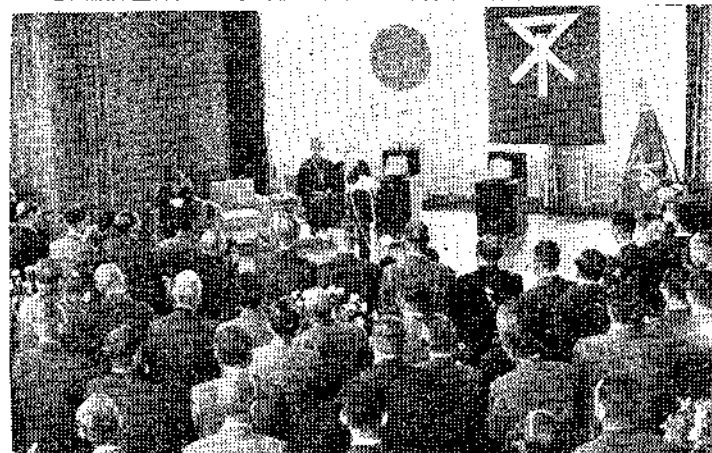
⑥十三バイパス一部開通★福知山-大阪線からみる<8月>



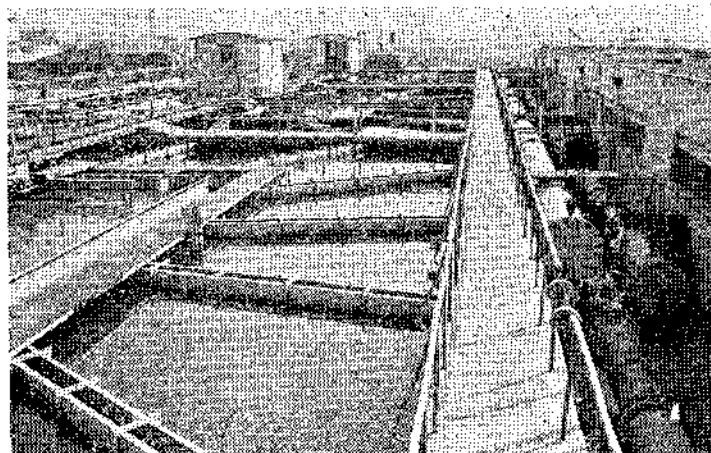
②大阪港整備にマルク外債★署名する中井市長(右)と左藤知事<2月>



⑦総合福祉センターできる★右のビルが愛隣会館・左寄りに愛隣寮<8月>



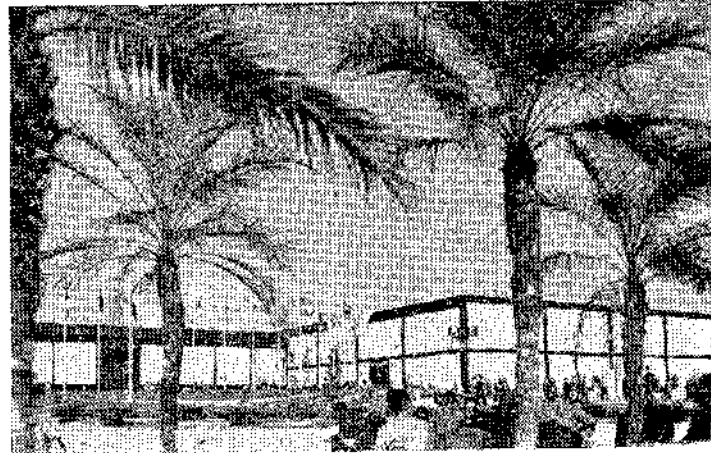
③初の名誉市民に白川・菅両氏★市長公館での称号贈呈式<4月>



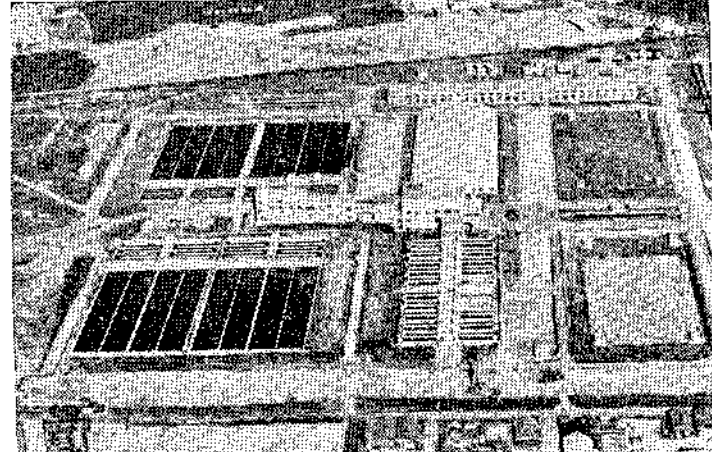
⑤地下水くみ上げ制限強化で工業用水道の拡張急ぐ★此花浄水場<8月>



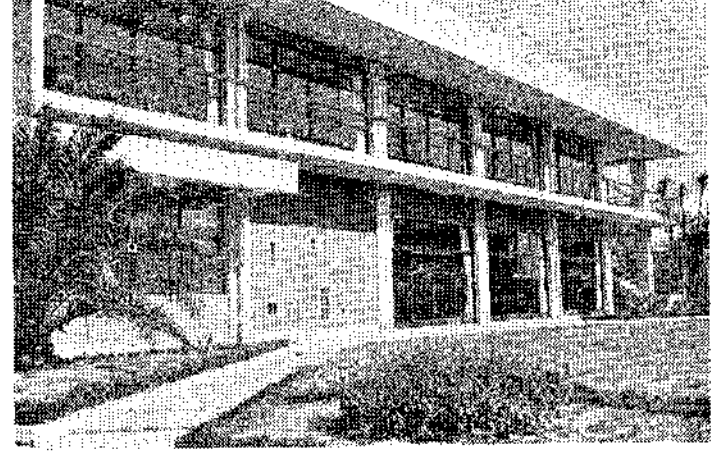
④国連の阪神都市圏調査★討議をかさねる日本・国連両チーム<5月>



⑦東洋初の国際工作機械見本市開かる★港区朝潮橋の特設会場<10月>



⑤水道第7回拡張事業全量通水始める★庭浄水場・手前が7拡<7月>



⑩婦人活動のセンター婦人会館完成★皇庭は広いシバフと花壇<10月>